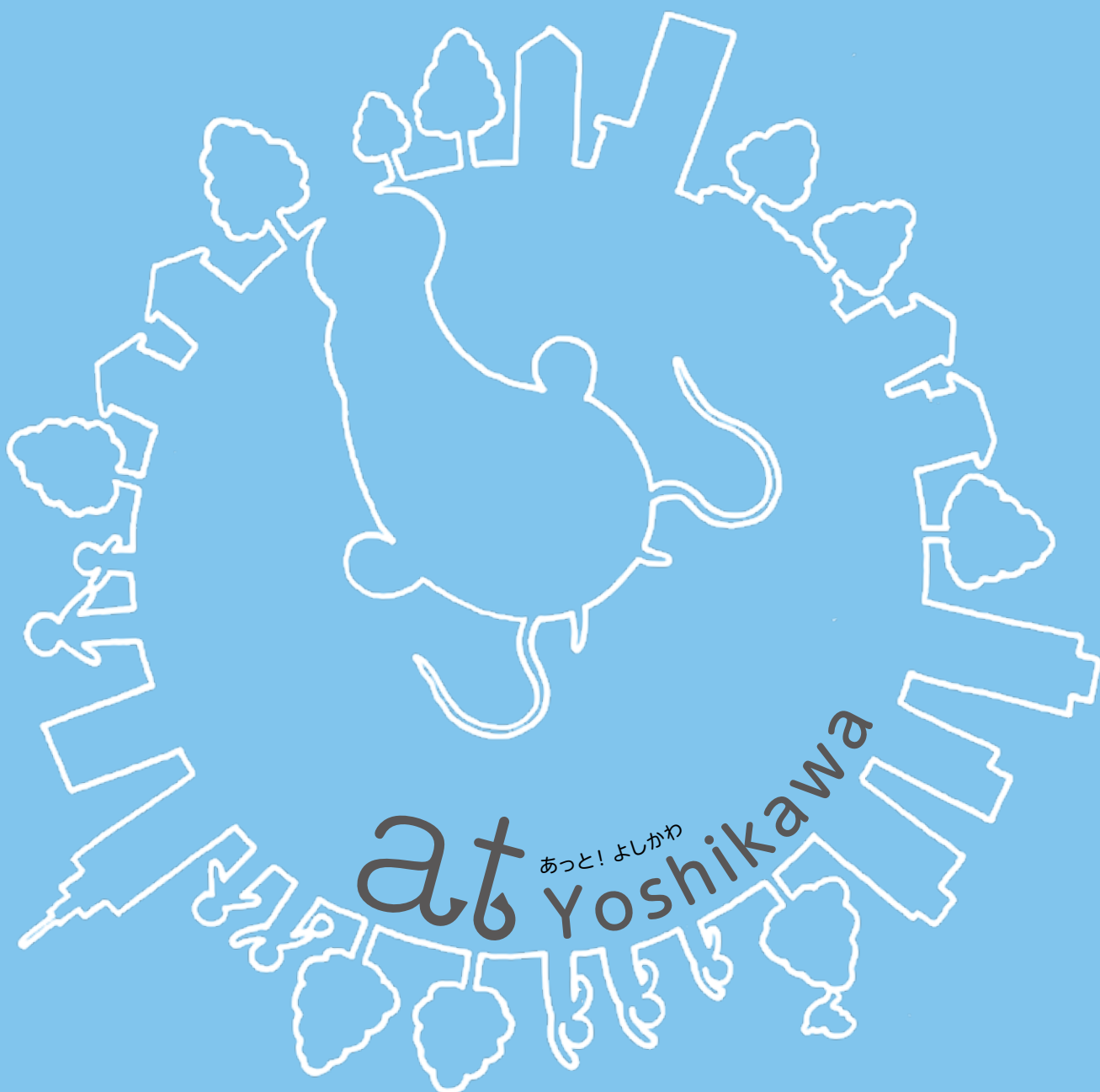


吉川市 市勢要覧
2017



人とまちが輝く 快適都市 よしかわ

埼玉県の南東部——東に江戸川、西に中川という二本の流れに抱かれて、市街地や田園の伸びやかな風景が広がる吉川市。都心から25km圏内という便利な立地にありながら、このまちには自然の恵みにあふれた安らぎの環境が備わっています。

平成8年に市制施行して以来20年が経過。そして、まちは従来の吉川駅を中心とした賑わいに加えて、近年は、平成24年に開業した吉川美南駅周辺で新たなまちづくりが進行。その将来像「人とまちが輝く 快適都市 よしかわ」に向けて、市は力強く発展を続けています。

発刊にあたって

古くから中川の舟運により江戸に米を供給していた歴史を背景に、江戸川や大場川という川に恵まれた地形をいかした文化が育まれ、川魚料理という食文化が根付き、現在は「日本なまず」の養殖にも取り組んでいることにより「なまずの里」と呼ばれる私達のまち「よしかわ」。

昭和30年に旧吉川町・旭村・三輪野江村が合併し、新「吉川町」となり、その後、昭和48年の武蔵野線吉川駅の開業、住宅地開発、都市基盤整備により人口が5万人を超え、平成8年4月、埼玉県下43番目、全国で666番目の市として「吉川市」となりました。そして平成27年には人口7万人を超え、平成28年に「市制施行20周年」という記念すべき年を迎えるに至りました。

今後は「住んでいる市民の幸福度の充実により、市内の出生率が上がる自然増」による持続可能なまちを目指し「価値ある未来を、共に」を合い言葉に「家族愛」「郷土愛」を持ち、「志」あふれる施策を展開し、「人とまちが輝く 快適都市 よしかわ」の実現に向けて、まちづくりを進めていきます。

この市勢要覧をご覧いただく中、そうした「よしかわ」への一層のご理解、愛着を深めていただければ幸いです。

吉川市長 **中原 恵人**

Greetings from the Mayor

Against the backdrop of the of the long history of transporting rice to Edo (the old name of Tokyo), and a culture borne from our unique landscape which is blessed with both the Edogawa and Obagawa rivers, a rich culinary culture of river fish cuisine took root in our region, which along with our current "Japan catfish" aquaculture initiatives, as led to our town Yoshikawa being known as the "Catfish hamlet."

In 1954 the former towns of Yoshikawa, Asahimura, and Miwanoemura were combined to form the new town of "Yoshikawa." Through the opening of the Musashino Line Yoshikawa Station in 1974, the development of residential areas and improvements to urban infrastructure, our population exceeded 50,000 people, and in April of 1996 Yoshikawa became the 43rd city in Saitama Prefecture, and the 666th city nationally to become "Yoshikawa City." In 2015 population exceeded 70,000 people, and in 2016 we reached the momentous "20th Anniversary of our City's Founding."

Looking to the future, by pursuing a "natural increase in the birth rate by increasing the happiness of our citizens," and with a motto of "together, towards the valuable future," and feelings of "familial love" and "hometown love," and a development policy founded on "purpose," we will seek to realize our goal of, "Yoshikawa - A Serene City where the People and City Shine."

We sincerely hope this municipal handbook will help you achieve greater understanding and feel greater affection for our city, Yoshikawa.

Shigeto Nakahara, Yoshikawa City Mayor



価値ある未来を、共に



中央に「吉」の字、三方に川を配し、三カ町村合併の喜びを図案化し、「融和と協調」および「伸びゆく市」を表現しています

目次

- 2 吉川自慢
豊かな大地の実り、伝統文化などふるさと自慢の名物たち
鯉・川米葱・街
- 10 祝市民と祝った20回目の誕生日
- 12 吉川紀行
春色が咲き、彩りひときわ鮮やかに
夏の熱気が、人の想いを二つにする
秋の実り、大地を染めて
冬の日に、一年の幸を願う
- 18 文化財
- 20 吉川市の足跡
- 24 第5次吉川市総合振興計画
第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり
第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり
第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり
第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり
第5章 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり
第6章 まちづくりの推進のために
- 28 数字でみる吉川
- 33 吉川市全体マップ



吉川自慢

吉川って、どんなまち？

何があるの？

まずは、そんな問いかけに

お答えしていきましょう。

吉川市でぜひ見てほしいもの、

体験してほしいものはいろいろ。

そんな吉川自慢を、

市イメージキャラクター「なまりん」と

一緒に紹介していきます。



Discover the Charm of Yoshikawa

豊かな大地の実り、 伝統文化など ふるさと自慢の名物たち

江戸川と中川の間に豊かな土地が広がる吉川市。そこには、市民たちが誇りとするような「吉川自慢」の数々が存在します。

例えばその一つに、「なます」があります。古くからこの街ではなます料理が親しまれ、今でも市内の川魚料理店でなます料理の数々を味わうことができます。なますの養殖場が市内にあるのも、吉川ならではの、店の看板やマンホールのふたなどにもなますがデザインされ、さらには「吉川なますの里マラソン」などなますの名を入れたイベントも行われています。

豊かな農産物もこの街の自慢。特に有名なのがねぎで、品質の高さには定評があります。また、古くから早稲米の産地として知られ、夏の青々とした水田や秋の黄金色の田んぼなどの田園風景は、季節の風物詩ともなっています。

都心に近いところから、近年は大型マンションも建ち、新たな街並みも誕生。若い世代を中心に人口も増えて、新たな活気が生まれています。その一方で、いにしへの吉川を今に伝える自然や歴史も残り、「吉川八坂祭り」や「オビシヤ」などの伝統行事を継承する「ミニシティも健在です。そんな「自慢」でいっぱい吉川市を、市イメージキャラクター「なまりん」と探訪します。



わたしは「なまりん」。
平成22年に誕生した
吉川市イメージキャラクターです。
今日は、市の魅力を
紹介します。

Blessed by the Earth's Bounty,
and a Rich Traditional Culture,
The Treasures of our Hometown

Yoshikawa City is located in the bountiful region located between the Yoshikawa and Nakagawa rivers, and the residents take pride in a number of "Treasures of Yoshikawa." One unforgettable example is the "catfish," which has long been part of Yoshikawa's rich culinary history and is the source of the region's nickname, the "Catfish's hamlet." Yoshikawa is also famed for its excellent agricultural products. Its scallions are particularly famous, serving as a standard of high quality. In the center of the city, a new townscape has also recently sprung up featuring modern high-rise apartments.

Pride of Yoshikawa



Let's Try Catfish Cuisine!

"Catfish meatballs" flavored with miso and other seasonings have long been a traditional favorite of Yoshikawa families. Tempura fried catfish, soy-broiled catfish, and catfish sashimi are other popular dishes that can be found at river fish cuisine restaurants in the region. Yoshikawa catfish are renowned for their odorless, delicate meat which has the refined, pure flavor.



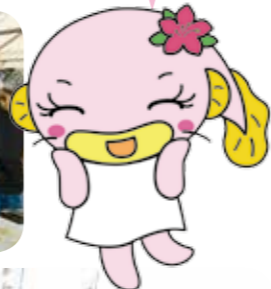
なまず懐石。左上から「てんぷら」「柳川鍋」「西京焼」「酢味噌和え」「たたき揚げ」「こぶじめ」「薄造り」

吉川の家で親しまれてきた伝統的ななまずの食べ方といえは、「なまずのたたき揚げ」。これは、たいていミンチ状にした身を味噌などで味付けして揚げたものです。このほかに市内の川魚料理店では、天ぷら、蒲焼き、薄造りにした刺身などが堪能できます。臭みがなく白身魚のような淡白で上品な味わいは、丁寧に育てた吉川産ならではのものです。初めての人でも「こんなに食べやすかったの？」と驚くなまず料理を、ぜひ一度ご賞味あれ。

Let's Try Catfish Cuisine!
なまず料理を
食べてみよう



市内のイベントで販売されるなまず料理



かつて市内の用水路などで日常に見ることができた、なまず。都市化が進んだ昭和40年代からその姿を消していききましたが、平成に入るところから、古くから親しまれてきたなまずを市のシンボルにしてまちづくりを進めていくという気運が高まりました。なまずをモチーフにしたまんじゅうやせんべいなどを市内の事業者が考案。平成7(1995)年には吉川駅前に、金色のなまずモニュメントも完成しました。



なまず養殖場 宇野克己さん
農事組合法人 吉川受託協会
でなまずの養殖をしています。最初は苦労の連続で、特に稚魚の生存率が低いので、ばっ気(水中に酸素を多く取り込むこと)や餌やりを気に使いました。40~50cmになると出荷していますが、きれいな地下水で育てたなまずは、臭みもなくおいしいですよ。



休田を利用した養殖場。10cmほどの稚魚から養殖池で40~50cmになるまで2年程度育て、市内の料亭などに年間約2トン出荷している 巻末地図 B-4



Come and See the Catfish!
市内には
なまずの養殖場が
あるんだよ



マンホールや水道の仕切弁にも



吉川駅前広場のモザイクタイル



なまずの車止め



市内各地の店舗に置かれた「まちなか水族館」では生きたなまずが見られる

吉川の街を歩いたら、「ぜひ」なまずを探してみよう。吉川駅前のモニュメントやマンホール、広場のタイル、さらに、なまずをモチーフにした、まんじゅう、せんべい、グッズなどいろいろあります。

街で見かけた
なまずたち



Come and See the Catfish Nurseries of Yoshikawa!

Long a part of Yoshikawa's history, momentum gathered at the start of the Heisei Era in 1988 to promote the catfish as the symbol of the city, and local businesses began making souvenirs and treats with a catfish motif. In 1995 a golden catfish monument was erected in front of Yoshikawa Station, and in 1996 aquaculture nurseries in the city succeeded in raising catfish, and as they became an export product, the nickname, "Catfish's hamlet, Yoshikawa" was born. In 2010 the city mascot "Namarin" made her first debut.



中川



Yoshikawa Shares The River's Bounty
いつの時代も
川の恵みと
ともにある吉川



江戸川



市制施行20周年記念イベント「いくべ〜よし川まつり」で出航した高瀬舟。江戸時代に吉川から江戸に向けて米などが中川を下って運ばれた



Delicious Rice From Yoshikawa

吉川から
おいしいお米を



肥沃な土地に恵まれた吉川は、「万葉集」に「早稲米」の産地として詠まれた地域の中にあり、古くから早場米の産地として知られていました。江戸時代には幕府の直轄領となり新田開発が進められたことで、米の生産量が飛躍的に増大。吉川で収穫された米は、中川を渡る舟で盛んに江戸へ送られました。

現在も、市の北部や東部を中心に米作りは盛んです。昔と変わらず、農家の手で丹精込めて生産された吉川産米は多くの食卓で親しまれ、また、美しい田園風景は私たちに潤いをもたらしてくれています。



吉川産の米で作ったおにぎりに、子どもたちも思わず笑顔に



「福寿家」主人 小林政夫さん

子どものころは、中川が遊び場でした。川にも満ち引きがあって、流れが始まる時にはヤマベ(オイカワ)やフナがよく釣れて、水が引くと中洲でシジミが採れました。水かさが増す時は、親に「川で泳ぐな」と言われていましたね。舟が盛んに河岸を出入りしていて、岸につないだ舟に乗ると船頭さんにきつくしかられたものです。

In Every Age
Yoshikawa Shares The River's Bounty

Located between the Nakagawa and Edogawa rivers, and with the Obagawa river running through its city center, rivers both shape and define Yoshikawa city. The Nakagawa River previously served as a major waterway for transporting goods and rice to Edo (the former name of Tokyo), and served as the base of prosperity for the Yoshikawa region.

中川と江戸川の間に市域が広がり、また市の中央部に大場川が流れるなど、川はこの街と切っても切れない存在です。氾濫による被害も過去にはありましたが、川の営みのお陰で肥沃な大地

が作られ、さらに農業用水として利用されることで、米などの作物を育む環境も生まれました。また、中川はかつて江戸へ米などの物資を運ぶ重要な水路として利用され、吉川の繁栄の土台を築

きました。そして今、サギやカマなどの鳥が遊び、広がりのある風景を見せてくれる水辺の空間は、人々に憩いを与える貴重な存在となっています。



米農家 浅見明一さん

「おいしいご飯が食べたい」というグルメ志向が高まる中で消費者の皆さんに選んでいただけるよう、付加価値の高い米作りに取り組んでいます。また、稲刈り体験など、市民が農業に親しむイベントにも積極的に協力させていただいています。特に子どもたちには、ぜひ田んぼに来てもらって、農業の素晴らしさを知ってほしいですね。



Delicious Rice From Yoshikawa

The Yoshikawa region has been known for its early rice harvests since ancient times. Today, rice production continues to thrive centered around the northern and eastern areas of the city. As in ancient times, rice raised by the earnest labor of Yoshikawa farmers is enjoyed at tables throughout the country, and the beautiful rice fields refresh the hearts of all who see them.



「吉川のしずく」が誕生しました

平成28(2016)年、吉川産の特別栽培米コシヒカリに愛着を持ってもらうため、新たな名前を公募し、「吉川のしずく」に決定しました。このお米は、JAさいかつ吉川米の会が農薬と化学肥料の使用を最小限に抑えた栽培に取り組み、県から「特別栽培農産物」の認証を取得。さらにおいしさの評価基準である「食味値80点以上」のお米のみを厳選したこだわりの自信作です。

Pride of Yoshikawa



緑豊かな住宅街



マンションが建ち並ぶ「吉川美南駅」周辺



水辺空間を生かした中井沼公園 巻末地図 A-3

The Comfort of Nature And Vigor of a Modern City Combine in Yoshikawa

The ideal balance of nature and the functions of a modern city achieved in Yoshikawa's townscape create a comforting and invigorating atmosphere for all residents. Ricefields and plentiful parks can be found throughout the city, and the new townscape being developed centered around the new Yoshikawa Minami Station ushers in a new era of energy.



The Comfort of Nature And Vigor of a Modern City

自然が作る癒やしと
新たな街並みが
作る活気がここに

自然と都市機能がバランスよく調和した吉川の街並みは、誰にとってもちょうどいい心地よさを持っているようです。河川が作る水辺空間や伸びやかに広がる田園、数多くの公園―それらの風景に、桜や菜の花など季節ごとの花々が格別の癒やしを与えてくれます。歴史・文化の息づく街だけに、由緒ある社寺や屋敷林など古き良き吉川を伝える風景も健在。その一方で、きよみ野の市民交流センターあしすのモダンなたたずまいや整った街路、さらに新駅・吉川美南駅を中心に生まれつつある街並みは、新しい時代の活気を予感させてくれます。



ねぎ農家 渡邊康雄さん

吉川ブランドの一つ「吉川ねぎ」を守り伝えていくため、他のねぎ農家と力を合わせて「いいものを作ろう」と栽培に取り組んでいます。「ねぎ作りは土作り」なので、畑の土をいかに最良の状態にするかに一番気を遣いますね。新鮮な吉川の夏ねぎを一度生でかじってみてください。最初に甘みが、次に爽やかな辛みが広がりますよ。

"Yoshikawa Green Onion," A Local Product Known Throughout Japan Scallions are the representative product of Yoshikawa's vegetable produce. Yoshikawa Scallions are primarily cultivated starting in the spring and harvested in the summer. The scallions achieve a delicious balance sweet and spicy flavors, and serve as the perfect garnish, and also make a great addition to soups and stews. Scallions boast the top spot among all of Yoshikawa's vegetable exports.

「巻きがしっかり煮くずれしらず」の吉川ねぎ



生育に合わせて何度か土寄せすることで、白い部分が長く柔らかい「吉川ねぎ」が出来上がる



Yoshikawa Green Onion
「吉川ねぎ」の名で知られる市の名産品

吉川市の野菜を代表する作物が、ねぎです。明治の初めごろから、中川、元荒川、江戸川などの自然堤防の周囲で栽培されており、「吉川ねぎ」として人気を集めてきました。秋冬ねぎとして知られる深谷ねぎなどに対して、吉川ねぎは春から夏にかけて収穫される夏ねぎが中心。甘みと辛みのバランスが良いため、そば、そうめんなどの薬味として最適で、また柔らかいのに煮くずれしにくいという特長もあります。夏ねぎの出荷は6月から8月が最盛期ですが、近年では鍋の需要に合わせた秋冬ねぎも出荷。ねぎは市内で、生産者が最も多い野菜です。



吉川駅前のラッピーランドは、なまりんグッズなど約20種類以上の商品を取りそろえています(酒類を除く) 巻末地図 A-4

ラッピーランドには名産品がそろっています



市内産の酒米「五百万石」から醸造された純米酒「なまず御前」



なまりんのほか、なまずをイメージしたさまざまなグッズ

餡がぎゅーり入ったまんじゅうやどら焼き、最中はお茶請けやお土産に最適

かわいいなまずの形や焼印が押しあつせんべい。地元の米を使ったチップスが好評です

吉川には、名物のなまずをモチーフにした食品がいろいろ。なまずの形のせんべいやまんじゅう、吉川産米100%の純米酒「なまず御前」など、どれもユニークですが味は折り紙付き!

吉川の名産品





Yoshikawa City Founding 20th Anniversary Commemoration

祝 市民と祝った20回目の誕生日 吉川市市制施行20周年記念事業

吉川市は、平成28(2016)年4月、市制施行20周年を迎えました。この節目の年を市を挙げて祝い、未来に向けた新たな出発の年にするため、市民をはじめたくさんの方たちの記憶に残るような記念事業を展開しました。

2016
4月
APRIL

「原動機付自転車
オリジナルナンバープレート」の
デザインを投票で決め、交付しました

市制施行20周年を記念して作製した、原動機付自転車のオリジナルナンバープレートには、市イメージキャラクター「なまりん」をあしらった3種類の候補デザインの人気投票を実施。決定したデザインのプレートが、平成28(2016)年4月1日にスタートしました。



なまりんをメインに、2本の川と田園風景、さくら通りの桜の花びらをイメージしたピンクの花びらが特徴です

“Motorized Bicycle Original License Plate” Design Selected By Vote Available!

A popular vote was held to select the winner among of three motorized bicycle license plate designs celebrating the city's 20th anniversary with designs featuring the city mascot "Namarin." Plates with the winning design were issued starting April 1st, 2016.

2016
4月
APRIL

「吉川のあゆみ」を
発行しました

原始から平成28(2016)年の市制施行20周年記念日までの吉川の歴史を、分かりやすい年表形式で表した「吉川のあゆみ」を発行。A4版・オールカラーで、主な出来事に関する写真も掲載しています。



“Yoshikawa Historical Guide” Published

A historical guide which traces Yoshikawa from its origins until the 20th anniversary of the city founding in 2016 was printed in an easy-to-understand year-based style. It is an all-color A4 sized publication, featuring photos for key events.

2016
5月
MAY

「記念切手」を発行しました

「なまりん」や名物のなまざ料理、吉川八坂祭りなどがデザインされた切手が登場。10種類の82円切手が1シートに収められています。数量限定で販売された700シートは、好評のうちに完売しました。



Limited Edition “Commemorative Stamps”

10 designs of commemorative stamps were created featuring “Namarin,” famous catfish cuisine, the Yoshikawa Yasaka Festival, and other famous city elements. The 700 limited edition sheets featuring all ten 82-yen stamp designs quickly sold out.

2016
7月
JULY

『吉川むかしばなし』を
刊行しました

20年前に発行した市制施行記念誌本『吉川むかしばなし』と方言集『よしかわ地方の方言と話言葉』を再編集して、新たに刊行しました。絵本と方言集を冊にまとめてあるので、子どもから高齢者まで広く楽しめる内容です。



“Folktales of Yoshikawa” Published

The “Folktales of Yoshikawa” picture book published 20 years ago to celebrate the city founding was combined with the “Yoshikawa Region Dialect Guide” and newly edited and published in an edition all ages can enjoy.

2016
8月
AUGUST

「いくべ〜よし〜川まつり」を
開催しました



高瀬舟「吉川宝船」には現在の吉川の名産品を積んで江戸に向けて出航



Eボートを一所懸命に漕ぐ子どもたち

“Let's Go! Yoshikawa River Festival” Held

The “Let's Go! Yoshikawa River Festival” was held to celebrate and reflect on Yoshikawa's long history of being blessed by rivers. The many visitors fully enjoyed Yoshikawa's river culture with trips on the “Yoshikawa Treasure Boat” reproduction of a river barge, rubber canoe “E-Boat” races, river delicacies and panel discussions.

川で栄えた吉川の歴史をもう一度見つめ直し、川を楽しむ祭典「いくべ〜よし〜川まつり」を開催。高瀬舟「吉川宝船」の航行や、ゴム製のカヌー「Eボート」によるレース、川にまつわる史料や写真パネルの展示などで、多くの来場者が川文化を満喫しました。

TOPICS

「全国なまざサミット2017吉川」を開催しました

なまざでまちおこしをしている日本各地の自治体・団体が集まり、市民交流センターおあしすで「全国なまざサミット」を開催しました。シンポジウムでは、なまざの食文化・風習の解説や、各自治体の取り組みなどが発表され、活発な意見が取り交わされました。

会場では「よしかわご当地グルメコンテスト」を同時開催。最終選考に残った市内の飲食店、団体・個人が、吉川産のなまざや特産品を使った新メニューに来場者が試食による審査をしてグランプリを決めました。また、有名シェフによるオリジナルなまざ料理を出すキッチンカーには、行列ができていました。



「よしかわご当地グルメコンテスト」で新メニューを披露した参加者



サミット宣言をする中原市長



The “National Namazu Summit 2017 in Yoshikawa”

Local government bodies and organizations seeking to invigorate their towns through catfish gathered from across Japan for the “National Namazu Summit” held at the Yoshikawa City Community Center. A lively and vigorous exchange of opinions took place in the symposium held as part of the event. The “Yoshikawa Local Gourmet Contest” was also held at the Community Center at the same time, and tastings and reviews were conducted for a variety of foods made with Yoshikawa catfish and other local specialties.

①Cherry blossoms along the Nakagawa river embankment : Landscape of the embankment near Yoshikawa Station flanked with cherry blossoms and yellow canola flowers. ②Yoshikawa Namazu no Sato Marathon : A municipal marathon held every year at the beginning of April. ③Cherry Blossom Road : A famous cherry blossom lane in Yoshikawa City, with over 500 trees running 3km. ④Edogawa River Rape Blossoms : Enjoy flowers along the Edogawa River from the end of March until the beginning of April.

③ さくら通り 巻末地図 A-2・3

吉川市きっての桜の名所。吉川駅北口から東へ歩くと、北へ約3km にわたって500本を越える桜並木が続きます



④ 江戸川の菜の花 巻末地図 B-2

3月下旬から4月にかけて、サイクリングコースにもなっている堤防が、約3km にわたって明るい黄色に染まります



吉川紀行

写真で綴る

Travelogues in Yoshikawa

暮らしと自然が調和する吉川。街並みには、常に笑顔と活気があふれています。そんな吉川の移ろう四季を写真で追ってみました。

SPRING

春色が咲き、彩りひとときわ鮮やかに

① 中川土手沿いの桜 巻末地図 A-3

桜と菜の花が織りなす吉川駅近くの土手沿いの風景



② 吉川なまずの里マラソン

毎年4月初旬に開催される市民マラソン。2km からハーフまでの各部門に市内外のランナーが集い、健脚を競います

②花しょうぶ 巻末地図 A-3

5、6月、中井沼公園、市民農園で美しい姿を
観賞できる、吉川の花しょうぶ。純白の「初霜」
という品種を中心に農家で栽培されています



市制施行20周年を記念して打ち上げた花火

①Yasaka Festival : Every year in mid-July, all of Yoshikawa City bursts into celebration for the Yoshikawa Yasaka Shrine Festival. The festival is known as one of the famous "raging shrine" festivals in eastern Japan as participants toss the portable shrines high above their heads. ②Hanashobu Irises : In May and June you can enjoy lovely irises at the Nakainuma Park and Allotment Garden.



SUMMER

夏の熱気が、
人の想いを一つにする

①吉川八坂祭り 巻末地図 A-3

毎年7月中旬、吉川の街を熱く盛り上げる八坂神社の祭礼。
約400年の歴史を持ち、9基の神輿が繰り出す光景は壮観
です。神輿を頭上高く放り上げることから、関東有数の「暴
れ神輿」として知られています





弓取式 本吉川香取神社 巻末地図 A-3



あられまき 高富蕎高神社 巻末地図 A-4



宮投げ 木売熊野神社 巻末地図 A-4

◎オビシャ行事

オビシャ(御歩射)とは、弓矢で的を射ることにより、その年の五穀豊穡、家内安全、無病息災、厄除けを祈願する年頭行事です。地区によっては、神社で赤ちゃんが宮司らと共に弓取りの儀を行うほか、前の年に収穫した米で作ったあられを投げ合うというユニークな光景も見られます

●Obisha Ceremony : A unique ceremony praying for a bountiful harvest, safety for the family, freedom from disease and the prevention of disasters. Each district has their own celebrations, such as throwing rice candies or shooting arrows.

① 田園風景

豊かな土と水に恵まれ、古くから稲作が盛んだった吉川。青空と黄金色の田園が鮮やかなコントラストを描く爽やかな風景は、この街の秋の風物詩です



② コスモス 巻末地図 A-1

吉川の秋の花を代表するコスモス。市北部、江戸川近くの約1haの農地が、赤やピンクのあでやかな花で埋めつくされます

① Ricefield Scenery : The beautiful contrast between blue skies and golden rice fields is a treasure of Yoshikawa. ② Cosmos : Lovely red and pink cosmos symbolizing autumn in Yoshikawa.



WINTER

冬の日に、一年の幸を願う



AUTUMN

秋の実り、大地を染めて

◎南无仏塔(県指定文化財)

善来地 巻末地図 A-4

鎌倉時代から戦国時代にかけて、追善や供養を目的に造った塔婆で、仏を表す梵字または仏像、造立年月日、被供養者名などが刻まれています。関東地方に多く、そのほとんどに秩父産の青石(緑泥片岩)が使われています。木売地



区の清浄寺にあるものは、青石に「南無仏」と刻まれた禅宗風のもので、その特徴ある書風は、正安元(1299)年に渡来した宋僧で書家としても知られる一山一寧のものといわれています。

◎西念法師塔(県指定文化財)

善来地 巻末地図 A-4



西念は、浄土真宗の開祖親鸞の二十四輩(数多い門弟のうちの24人の高弟)の一人で、親鸞に従って東国へ下向し武蔵・常陸国などで共に布教を行いました。この西念がこの地に開いたといわれるのが、

清浄寺です。境内の一角にたたずむ西念法師の塔は、六角形の塔身の上に六角形の笠を乗せる石塔として非常に珍しい様式で、鎌倉時代のこの種の石造物としては県内唯一のものです。

悠久の時を刻む
文化財

原始・古代から連綿と人の営みが続いてきた吉川市には、それぞれの時代に独特の文化を花開いてきました。今、それらの遺産を目にするとき、先人たちの知恵や信仰の深さに感嘆せずにはいられません。ここでは、いにしえの吉川を物語る市の貴重な文化財を紹介します。

Cultural Treasures
Measuring the Passage of Time

From ancient, primeval times, there has been an unbroken line of people thriving in the Yoshikawa region, and a unique culture blossomed in every era. Today, when looking back on the legacy of those who went before us, one cannot be unmoved by the depth of their knowledge and faith. Here we will introduce the valuable cultural assets that tell the story of Yoshikawa's ancient dreams.

◎定勝寺銅鐘(県指定文化財)

善来地 巻末地図 B-4



三輪野江地区にある定勝寺は、江戸初期の利根川付け替えの際、その支流(現在の利根川)の流路にあたることから、現在地に移転してきました。寛文9(1669)年に製作された銅鐘には、「二郷半領」の由来などが刻まれ、吉川周辺の歴史を知る上でも貴重なものです。また、刻まれている漢詩は、江戸の儒学者・林羅山の三男で儒学者の林鷲峰によるものです。

◎密蔵院イチョウ(県指定文化財)

善来地 巻末地図 A-4



高久地区にある密蔵院の境内にあるイチョウ。中川左岸の自然堤防上に位置し、高さ約29m、太さ約5.4m。雌木としては珍しい巨木として、県指定文化財の天然記念物に指定されています。本尊の地藏菩薩像が「子育て安産の地藏尊」として広く信仰されているところから、別名「子育てイチョウ」として親しまれています。

◎吉川市のオビシヤ

(県選択無形民俗文化財・市指定無形民俗文化財) 善来地 巻末地図 A-3・4

オビシヤ(御歩射)とは、弓矢的を射ることで、五穀豊穡や無病息災を祈念する行事です。吉川市は県内でもオビシヤが盛んな街で、市内各地でこの伝統行事が続けられています。なかでも、木売、高富、高久の三地区の行事はあられを投げ合うユニークなもので、本吉川香取神社の弓取式とともに、県の選択無形民俗文化財になっています。



本吉川香取神社弓取式

原始から現代まで 吉川市の足跡



明治10(1877)年頃
「徳江橋眺望」(埼玉県地誌略より)



昭和8(1933)年
吉川橋竣工記念
葉書



昭和31(1956)年
吉川町議会の会議場
(吉川小学校講堂)



昭和33(1958)年
中川で水遊びをする子ども達

豊かな土地に栄えた吉川
太古、東京湾が内陸まで深く入り込んでいたため、約6000年前(縄文時代前期)の吉川周辺はまだ海の中でした。紀元前600年ごろ(縄文時代晩期)には陸地が現れていたと考えられ、6世紀(古墳時代後期)以降に人々の暮らしが始まったと推測されています。
吉川には、江戸川や中川などの河川が流れ、水辺が織りなす「川と生活」をしながら発展してきました。

吉川の周辺にはいつから人が住み始め、どのような暮らしを営み、どのように街を発展させていったのか? 今、吉川の歴史をひも解き、先人たちの活動を知ることが、郷土の成り立ちを学ぶと同時に、未来へ私たちがどう歩んでいくべきかそのヒントを得ることにもつながります。ここでは、写真と文章で吉川市がこれまで歩んできた道をたどりま。

7世紀から8世紀の和歌を集めた「万葉集」の東歌に「葛飾早稲」という言葉が出てくることから、吉川を含む葛飾地域ではこのころには稲作が行われたと考えられています。
中世には、下河辺氏や風早氏による荘園支配や寺領など、さまざまに支配が変わりました。

江戸時代、新田開発が進められたことで、「早生米」の産地として吉川周辺は発展。生産した米は中川や江戸川を利用して江戸に運ばれたため舟運が発達し、この地は物資の集積地として栄えるようになりました。しかし、川からの恩恵を受ける一方で、多くの水害に見舞われました。

明治時代に入つて、東武鉄道が開通し駅ができた越谷と吉川の間に乗合馬車が走り、大正時代には乗合バスが運行。さらに関東大震災後、トラック運送が発達することにより舟運は衰退していきました。
大正4(1915)年、吉川村は町制を施行し吉川町になり、昭和30(1955)年には、吉川町、三輪野江村、旭村が合併し吉川町となりました。
昭和48(1973)年の国鉄(現JR)武蔵野線の開業で吉川駅が誕生し、同年の吉川団地の建設を契機に都市化が急速に進行。平成3(1991)年には、吉川町の人口は5万人を突破しました。

Yoshikawa, Flourishing in a Prosperous Land

In ancient times 6000 years ago, when Tokyo Bay was deeply embedded in the continental shelf, Yoshikawa was still under the ocean waves. It is thought that the land of Yoshikawa first appeared around 600 BC, and that people began living in the region after the 6th century. The phrase "Tokatsu early rice" appears in the poems collected in the 7th and 8th centuries, suggesting that rice cultivation had begun in the Tokatsu region, including Yoshikawa. In the Edo Era, the Yoshikawa region was developed as an "early growing rice" region as part of the new rice paddy development of the time, and the region prospered with the transport of goods and rice on the Nakagawa river. Yoshikawa became Yoshikawa Town in 1915, and in 1955 it merged with the former villages of Miwanoe and Asahi.

昭和48(1973)年
完成間近の吉川団地



昭和48(1973)年
武蔵野線開通・吉川
駅開業式

古代～吉川市誕生以前

- 大宝2(702)年ごろ 高い土地で稲作が行われ、『万葉集』に「葛飾早稲」と詠まれる。
- 長保2(1000)年ごろ 古利根川(現中川)近くの自然堤防に人が住み始める。
- 文治3(1187)年ごろ 芳川神社が創建される。
- 弘安7(1284)年 日蔵院に一尊板碑が造立される。清浄寺に西念法師の塔が造立される。
- 正安3(1301)年 清浄寺に南无仏塔が造立される。
- 永和4(1378)年 葉王寺に弥陀三尊板碑が造立される。
- 文安3(1446)年 延命寺に十三仏種子板碑が造立される。
- 文安4(1447)年 延命寺に六字名号板碑が造立される。
- 永禄12(1569)年ごろ 平沼で合戦が起こる。
- 天正18(1590)年 徳川家康の所領となる。
- 慶長15(1610)年 徳川家康、吉川で放鷹。
- 慶長17(1612)年 各地で新田開発が盛んに行われる。
- 慶安元(1648)年 延命寺・密蔵院に十石の朱印状がだされる。
- 寛文9(1669)年 定勝寺に銅鐘が鑄造される。
- 延宝3(1675)年 大場川の開削。二郷半沼が干拓される。
- 弘化3(1846)年 平沼で大火。
- 安政5(1858)年 中川・古利根川・荒川が氾濫し大洪水となる。
- 明治元(1868)年 武蔵・下総知県事の管轄に。
- 明治2(1869)年 小菅県(一部葛飾県)に属する。
- 明治4(1871)年 埼玉県に属する。
- 明治6(1873)年 芳川(吉川小)、時習(三輪野江小)、郁文(旭小)の各学校が開校。
- 明治8(1875)年 徳江忠次郎氏により徳江橋(吉川橋)が架けられる。
- 明治22(1889)年 町村制施行。15カ村で吉川村に、15カ村で三輪野江村に、7カ村が合併して旭村となる。

- 明治32(1899)年 東武伊勢崎線が北千住～久喜間で開業。越ヶ谷駅(現北越谷駅)が誕生する。
- 明治36(1903)年 乗合馬車が吉川・越谷(大沢)間を走る。
- 大正4(1915)年 町制施行。吉川村が吉川町となる。
- 大正5(1916)年 中川改修工事始まる(松伏から川富間)。
- 大正6(1917)年 徳江橋から古利根橋へ再架橋。
- 大正9(1920)年 吉川に電話がひかれる。
- 大正10(1921)年 乗合バスが越谷・吉川間を走る。
- 昭和8(1933)年 鉄筋コンクリート製の吉川橋が完成。
- 昭和22(1947)年 カスリーン台風による大洪水で、2,269戸が浸水。
- 昭和30(1955)年 吉川町、三輪野江村、旭村が合併し、新吉川町が誕生する(人口16,477人)。
- 昭和33(1958)年 水道がひかれる(三輪野江旭地区は35年から)。
- 昭和43(1968)年 町役場の新庁舎が完成する。
- 昭和46(1971)年 県立吉川高等学校が開校する。
- 昭和47(1972)年 密蔵院のイチヨウが県の天然記念物に指定。
- 昭和48(1973)年 吉川団地が完成。国鉄(現JR)武蔵野線が開通し「吉川駅」が開業する。関小学校が開校する。
- 昭和53(1978)年 老人福祉センターがオープンする。
- 昭和55(1980)年 町民憲章を制定。町の木「モクセイ」、町の花「サツキ・ツツジ」を制定。
- 昭和56(1981)年 町民プールがオープン。中曽根小学校が開校する。中央中学校が開校する。
- 昭和59(1984)年 郷土史料館が開館する。
- 昭和62(1987)年 平和都市宣言を行う。中央公民館が開館する。
- 平成元(1989)年 児童館ワンダーランドがオープンする。
- 平成2(1990)年 吉越橋が開通。新川橋が架け替えられる。昭平橋が開通。
- 平成6(1994)年 消防署新庁舎が完成。防災行政無線が開局。環境センターが業務を開始。
- 平成7(1995)年 屋内温水プールがオープン。吉川駅南口になまぐす monument が誕生。

吉川市誕生～市制施行20周年

- 平成8(1996)年 4月1日に市制を施行し、「吉川市」となる。人口は53,443人。市制記念事業として、アメリカ合衆国レイクオスエゴ市と国際友好姉妹都市を締結。
- 平成9(1997)年 岩手県室根村(現一関市)と友好提携を締結。
- 平成11(1999)年 市民交流センターおあしす・市立図書館がオープンする。
- 平成13(2001)年 吉川駅前にラッピーランドがオープンする。きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言。
- 平成14(2002)年 第4次吉川市総合振興計画がスタート。アクアパーク調整池公園ができる。なまずの里公園ができる。平沼地区公民館を併設した吉川小学校新校舎が完成する。子育て支援センター、ファミリーサポートセンターが開設する。
- 平成16(2004)年 市役所本庁舎、出先機関を含めたISO9001の認証を県内で初取得。彩の国まごころ国体ハンドボール競技(少年女子)を開催。吉川消防署南分署を開署。
- 平成17(2005)年 市役所総合窓口を開設。
- 平成18(2006)年 安全安心都市宣言を行う。ペットボトルの分別収集を開始。市税などのコンビニエンスストアでの納付取り扱いを開始。
- 平成19(2007)年 わがまち防犯隊連絡会を設立。
- 平成20(2008)年 保第2公園防犯活動ステーションが開所。高校総体の女子ハンドボール競技を開催。
- 平成21(2009)年 屋外市民プールが2年ぶりにリニューアルオープン。一人暮らしの高齢者などへ「安心リユック」を配布。
- 平成22(2010)年 障害者福祉サービス事業所「吉川フレンドパークあいらんど」がオープン。病児・病後児保育事業を開始。市イメージキャラクター「なまりん」デビュー。
- 平成23(2011)年 東日本大震災発生、吉川では震度5強を観測。
- 平成24(2012)年 JR武蔵野線「吉川美南駅」開業。第5次吉川市総合振興計画を策定。
- 平成25(2013)年 美南小学校が開校。吉川橋の架け替え工事が始まる。
- 平成27(2015)年 市の人口が7万人に到達。
- 平成28(2016)年 4月1日、市制施行20周年を迎える。
- 平成29(2017)年 全国初の「全国なまずサミット2017 in 吉川」を市民交流センターおあしすで開催。



平成15(2003)年4月
吉川小学校新校舎にて授業開始



平成16(2004)年10月
彩の国まごころ国体ハンドボール競技



平成17(2005)年5月
市役所総合窓口開設

From a Town to a City, the Progress of the Last 20 Years

In 1996, Yoshikawa Town underwent municipal organization and became Yoshikawa City, with a population of 53,443 people. Over the next 20 years the city built relationships with other cities both in Japan and the U.S., and developed its infrastructure. In 2012, the Yoshikawa Minami Station opened on the former site of the Musashino freight train yard, and became the center of a new stage of city development. The 5th Yoshikawa City Promotion Plan was formed in the same year, and set the goal of "Yoshikawa - A Serene City where the People and City Shine." In 2016 the city reached a population of 70,000. Yoshikawa City is now striving to make a further leap to become a mature city where each individual can feel comfort and happiness in their daily lives.

平成9(1997)年4月
岩手県室根村との友好提携協約に調印



平成14(2002)年8月
アクアパークオープン



平成8(1996)年4月
1日の市制施行により、「吉川市」が誕生



平成8(1996)年のアメリカ合衆国レイクオスエゴ市との友好姉妹都市締結の調印式



平成11(1999)年
市民交流センターおあしすオープン



町から市に。市制施行から20年の歩み
平成8(1996)年、吉川町が市制を施行し、人口5万3443人の「吉川市」が誕生しました。市制記念事業として、アメリカ合衆国レイクオスエゴ市と国際友好姉妹都市を締結し、さらに岩手県室根村(現一関市)とも友好提携を締結。以来、国内外において市民交流事業が積極的に展開されるようになりました。
平成14(2002)年には、第4次吉川市総合振興計画を策定。「ひとに優しさ まちに安らぎ 未来に夢ある みんなのよしかわ」市民主役の都市構想」を将来像としたまちづくりが進められました。核家族化や高齢化社会への対応が課題となることから、地域コミュニティの形成や福祉の充実を図って、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、障害者福祉サービス事業所「吉川フレンドパークあいらんど」などがオープンしました。
平成24(2012)年には、武蔵野操車場跡地に「吉川美南駅」が開業。駅周辺に新たなまちづくりが進んでおり、市発展の新たな拠点形成されようとしています。また、この年、第5次吉川市総合振興計画が策定され、「人とまちが輝く快適都市 よしかわ」の将来像を目指し、新たなまちづくりもスタート。平成27(2015)年には、市の人口が7万人を突破しました。
市民一人ひとりが住みよさと幸せを実感できる成熟した街に向けて、今、吉川市はさらなる飛躍を遂げようとしています。

人とまちが輝く 快適都市 よしかわ

吉川市の特徴である田園(自然)風景を残し、市民の安らぎの空間を保ちつつ、新たなまちづくりを活かし、人の交流や働く場を産み、仕事も生活も充実することで、全ての市民の暮らしが快適になり、活力あふれるまちが実現される姿を表したものです。

2

吉川市の価値を高める

みどり豊かな自然環境、住みやすい住環境、人と人の結びつき、歴史など、吉川市には、先人達が築き、また守ってきた特色があります。このため、吉川市では、今ある特色を一層活用し、吉川市の価値を高めるまちづくりを進めます。



3

共にまちを想い、共にまちを創る(共想・共創)

価値観が多様化する中、吉川市にかかわる全ての人々が、将来に向けたまちづくりの理念を共に想い描き、目指すべき姿に向かって、それぞれの立場と能力を活かして共にまちづくりを進めます。

1

市民の幸福感の向上

まちづくりの最終目標は、市民一人ひとりの福祉(幸福感)の向上にあります。このため、吉川市では、市民の幸福感が満たされるまちづくりを進めます。

金色のなまずモニュメント(吉川駅南口) 巻末地図 A-3



毎日1万歩運動

Health, Vigorous, Happy City Development

Yoshikawa City is pursuing city development with a focus on welfare that ensures everyone from infants to the elderly, and those with disabilities, can live and thrive with peace of mind. To support the health of citizens through their entire lives, we also promote health preservation, health care and sports in the city development. Furthermore, Yoshikawa City is progressing the stability and economic independence of its citizens' daily lives to ensure children can be raised with peace of mind.

- 市民が参加する福祉のまちづくり
- 未来を育む児童福祉の推進
- いきいき暮らせる高齢者福祉の推進
- みんなが支え合う障がい者(児)福祉の推進
- 生涯を通じた健康づくりの推進
- スポーツによる健康・体力づくり
- 地域医療体制の充実
- 健康保険・年金による社会保障
- 自立支援と生活保障

市民の主体的な参加と連帯に支えられた地域社会において、乳幼児から高齢者、障がい者が共に元気で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指します。全ての市民がいきいきと幸せに満ちた生活を送ることができるよう、社会参加を広げるとともに、生涯を通じた健康づくりのため、保健・医療の充実とスポーツのまちづくりを目指します。安心して子どもを産み育てられるよう、市民生活の安定と経済的自立の支援を進めます。

第2章 まちづくり

元気・健やか・幸せの

健康福祉部門

Health & Welfare Department



市民まつり

Meeting, Exchanging, Cooperating City Development

Yoshikawa City is pursuing city development that respects human rights and seeks to create an environment where citizens can be part of the regional society, feel connected with others, be engaged in community activities throughout the region, and trust, respect and help each other. Through activities, exchange, and communication with people throughout the region, we seek to create a city where everyone can flourish. We additionally pursue cooperative city development founded on trust and communication between citizens and the city government.

- 「施策のポイント」
- コミュニティ活動の推進
- 女(ひと)と男(ひと)が互いに認め合う社会づくり
- 平和で思いやりのある地域社会づくり
- 国際性豊かなまちづくり
- 都市間交流における人づくり
- 市民参加のまちづくり

第1章 まちづくり

ふれあい・交流・協働の

市民交流部門

Citizens Exchange Department

市民が地域社会の一員として、人と人のつながりを持ち、地域のさまざまなコミュニティ活動の中で生活し、互いに信頼し、尊重し合い、助け合いながら暮らすことのできる、人権尊重のまちづくりを目指します。さまざまな地域との交流活動を通じて、互いの生活や文化に心からふれあい、理解を深めることで、さまざまな市民が共に暮らせる社会の形成を図ります。活発な市民活動の中で、市民と行政が相互の信頼と連帯に基づいた協働のまちづくりを目指します。



市立図書館

Purposeful, Learning, Growing City Development

Yoshikawa City is promoting city and human development that allows each citizen to pursue their dreams and enjoy lifelong learning opportunities. Sound learning potential will be developed through school education founded on lifelong learning, and improvements to educational capabilities will be sought through activities throughout the regional society, to provide a rich environment for youth to develop into healthy, happy and capable citizens.

- 生涯学習による人づくりまちなづくり
- 豊かな人間性を培う学校教育の充実
- 青少年健全育成の充実
- 幼児教育の充実
- 家庭・地域・学校の連携
- 多彩で個性ある文化の創造と伝承

市民一人ひとりが希望に向かって生きがいのある人生を送ることができ、生涯にわたって学習機会が得られるよう、生涯学習による人づくり・まちづくりを推進します。生涯学習の基礎となる学校教育での確かな学力の育成や、地域社会におけるさまざまな活動を通じて教育力の向上を図り、青少年の豊かな人間性と自ら生きる力を育みます。市民の自主的な文化活動を積極的に支援し、多彩で个性的な市民文化の創造・郷土文化の継承を図り、活気あふれるまちなづくりを目指します。

〔施策のポイント〕

第5章 教育文化部門
Education & Culture Department
生きがい・学び・伸びゆくまちなづくり



市長とランチミーティング

To Promote City Development

We strive for strategic municipal operations, reform and improvement. In addition to maintaining an efficient system of municipal operations, we seek to develop human resources. We conduct sound fiscal management to ensure stable services for our citizens. We maintain safe and beneficial social capital and conduct sound management of public resources. We pursue open, trustworthy municipal operations, and promote a system matching the modern era.

- 計画的、総合的な行政の推進
- 持続可能な財政運営
- 公有財産の適正管理
- 地方分権の推進
- シティプロモーションの推進
- 広聴・広報の充実
- 情報公開の推進
- 情報化の推進

戦略的な行政経営と改革・改善に取り組みます。効率的な行政運営を行える組織体制を整えるとともに人材を育成します。市民サービスの安定のため健全な財政運営を行います。安全かつ有益な社会資本の整備と公有財産の適正管理を行います。開かれた行政、信頼される行政運営を進めます。分権時代に応じた体制整備を進めます。

第6章 行政運営
Municipal Operations
まちなづくりの推進のために



なまらん体操地域自慢大会

Refreshing, Safe, Comfortable City Development

In order to create a comfortable living space for all citizens, Yoshikawa City is pursuing the improvement of its parks, greenery facilities and residential environments. For the safety of its citizens the city is pursuing the improvement of regional disaster prevention capabilities, as well as fire and emergency responses. The city also seeks to reduce its environmental burden through waste reduction and responsible resource management.

- 調和のとれた住環境づくり
- みどり豊かなまちなづくり
- 美しい水環境の創出
- 環境にやさしいまちなづくり
- 災害に強いまちなづくり
- 総合的な治水対策の推進

- 暮らしを支える上下水道の充実
- 安全で明るいまちなづくり
- 交通事故のないまちなづくり
- 安心して暮らせる消防・救急体制の強化
- 消費者保護の推進

市民が快適な生活空間に暮らすことができるように、公園・緑地の整備や居住環境の向上、美しく親しめる水環境の実現に努め、安らぎと居るおいのある快適なまちなづくりを目指します。市民生活の安心のため、総合的な治水対策や地域の防災力の向上を図るとともに、消防・救急体制の充実や犯罪・事故に遭うことのない安全なまちなづくりを目指します。水と緑、自然環境を守り環境と共生するため、環境負荷の軽減に努め、地域にやさしいまちなづくりを目指します。市民生活に欠かすことのできない上下水道の安定供給を図ります。

第3章 生活環境部門
Living Environment Department
うるおい・安心・快適なまちなづくり



YOSHIKAWA JAZZ NIGHT

Lively, Vigorous, Active City Development

In order to realize city development that considers the coexistence of people and nature, the comprehensive, planned use of land is promoted to create a balanced townscape. We seek to leverage the landscape to create a city that reveals Yoshikawa's unique character and develop tourism resources, to create a bustling city. Agriculture, manufacturing and local sales companies are also supported and promoted.

- 魅力ある農業の振興
- 賑わいある商業の振興
- 活力ある工業の振興
- 労働環境の充実
- 観光の充実
- 秩序ある土地利用の推進
- 新しい市街地の整備
- 快適な道路網の充実
- 充実した公共交通網の整備

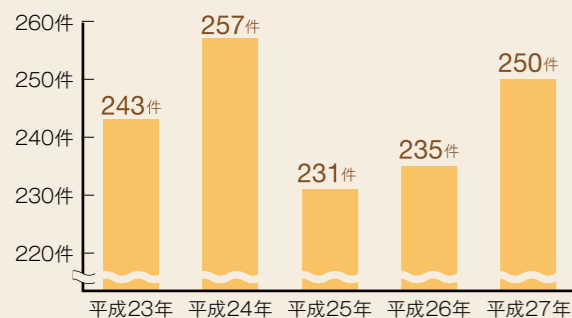
- 魅力ある農業の振興
- 賑わいある商業の振興
- 活力ある工業の振興
- 労働環境の充実
- 観光の充実

人と自然が共生する環境に配慮したまちなづくりを実現するため、総合的、計画的な土地利用を推進し、調和のとれた都市環境を創出します。特色ある市街地の整備により、吉川らしさのある街並みを創出するとともに、観光資源の開発を進め、賑わいのあるまちなづくりを目指します。地域の特性を活かした都市型農業の確立や活力ある地域産業の発展を目指して工業の振興を図るとともに、地域に根ざした商業の育成、支援により、商業の振興を図り、職住近接を目指した地域産業の成長と雇用、就業機会を拡大します。道路公共交通網は、各拠点や周辺都市とのネットワーク化を進め、都市間、都市内の往来に利便性の高いまちなづくりを目指します。

第4章 地域振興部門
Regional Promotion Department
躍動・活力・賑わいのまちなづくり

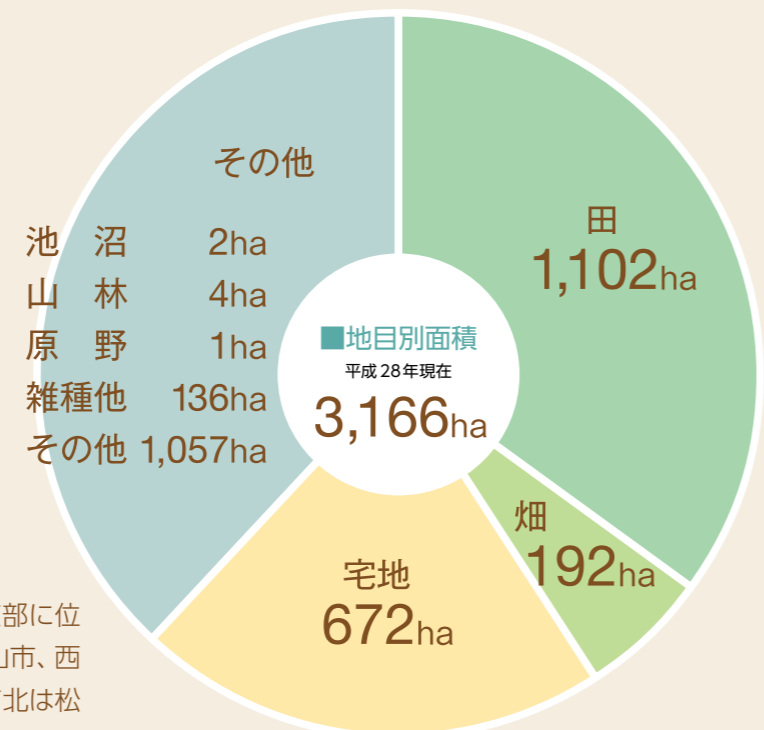
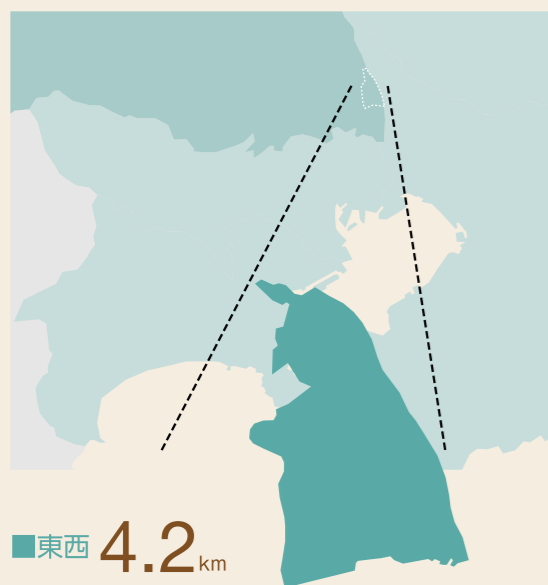
【安全編】

交通事故発生数



- 3,848件 救急出動総数 (平成27年)
- 6,673灯 防犯灯および道路照明灯 (平成28年度)
- 27件 火災発生件数 (平成27年)

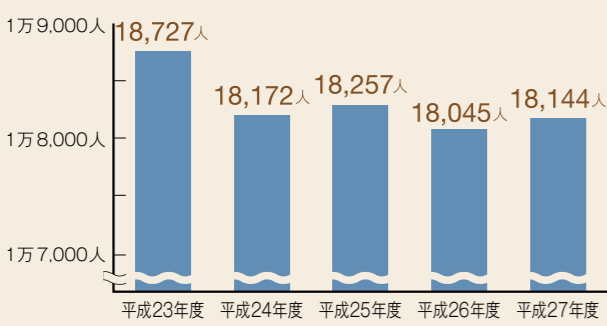
【地勢編】



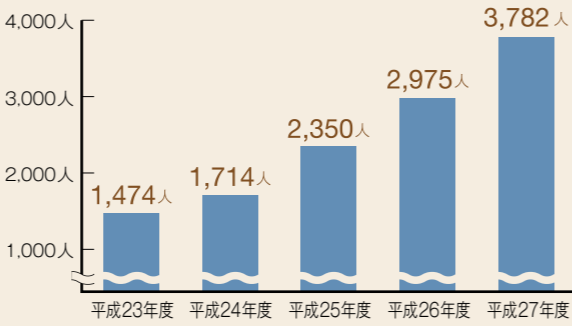
吉川市は、東京都心から20～30kmの埼玉県南東部に位置しており、東は江戸川を挟んで千葉県野田市・流山市、西は中川を挟んで越谷市・草加市、南は三郷市、そして北は松伏町と、それぞれ境を接しています。

【交通編】

吉川駅の乗客推移 (一日平均乗車)



吉川美南駅の乗客推移 (一日平均乗車)



【資料編】

数字でみる吉川

人々の暮らしが営まれる街の統計データを紹介します。

人口 平成29年1月1日現在

71,584人

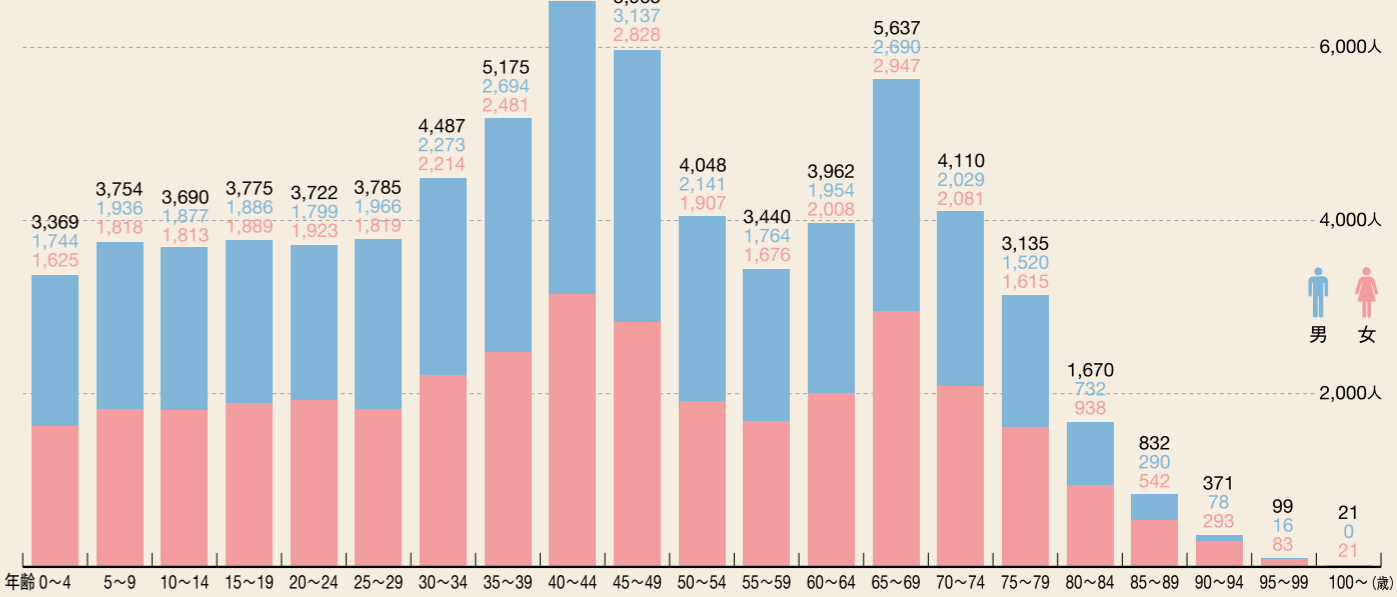
男 35,918人 女 35,666人

世帯数 平成29年1月1日現在

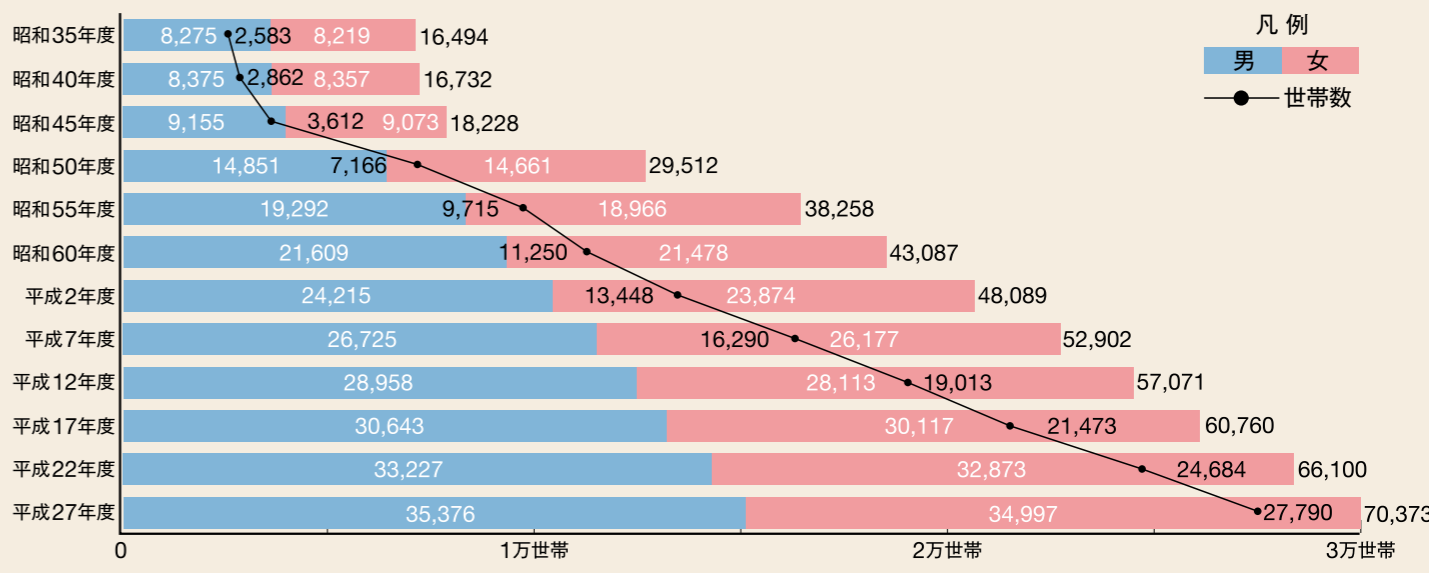
28,868世帯

【ひと編】

年齢別・男女別人口 平成29年1月1日現在

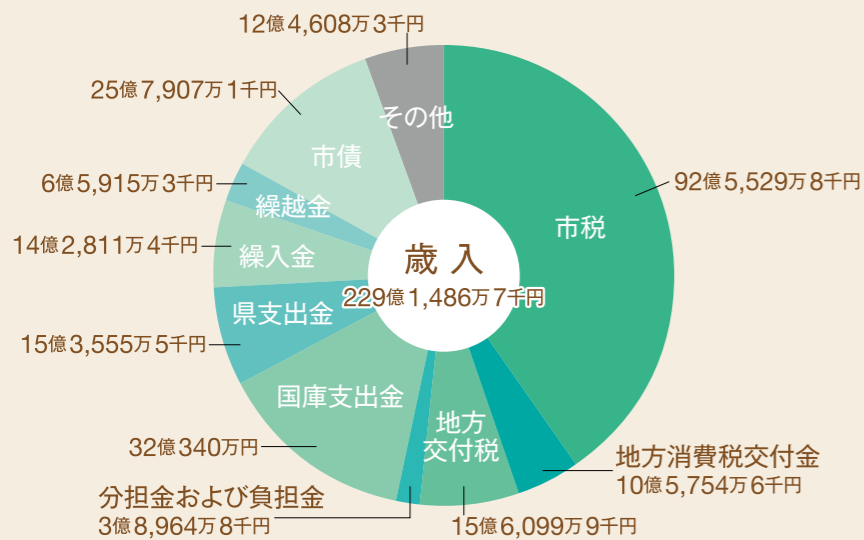


人口と世帯数の推移 各年度4月1日現在

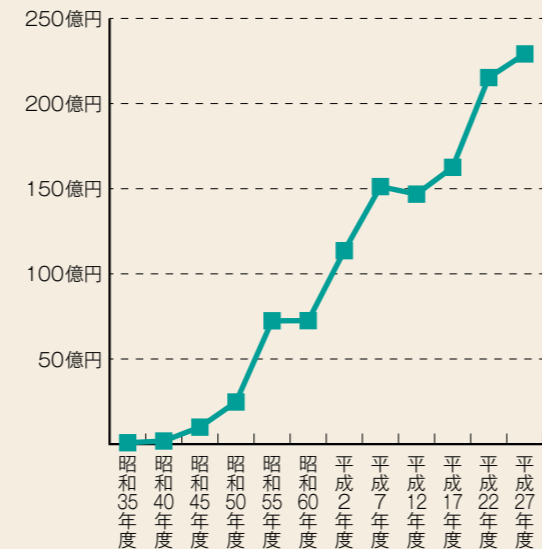


【行政・予算編】

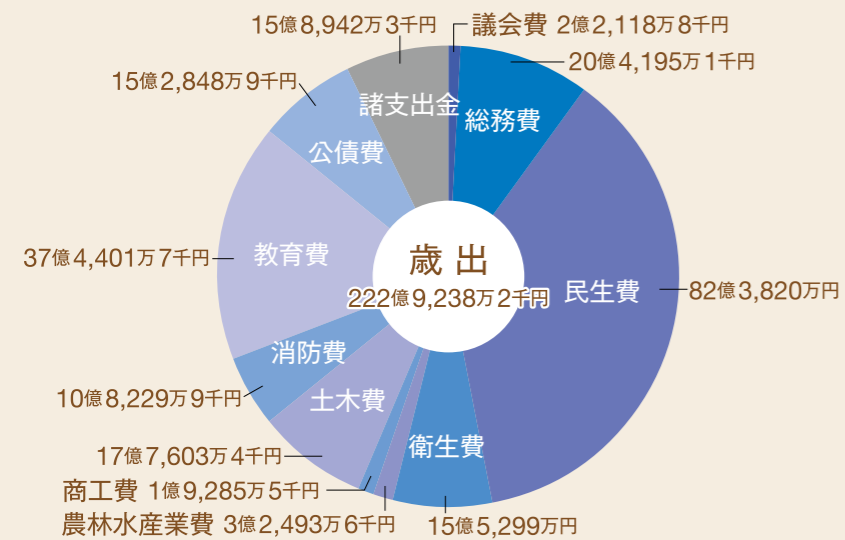
■平成27年度一般会計決算 歳入



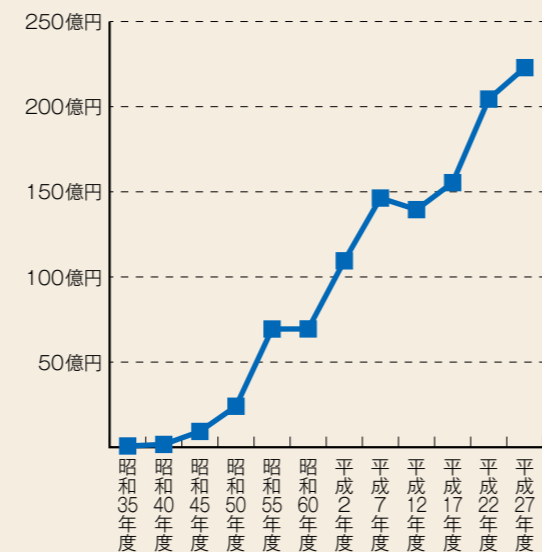
■一般会計決算 歳入の推移



■平成27年度一般会計決算 歳出



■一般会計決算 歳出の推移



■市民1人当たりで見ると

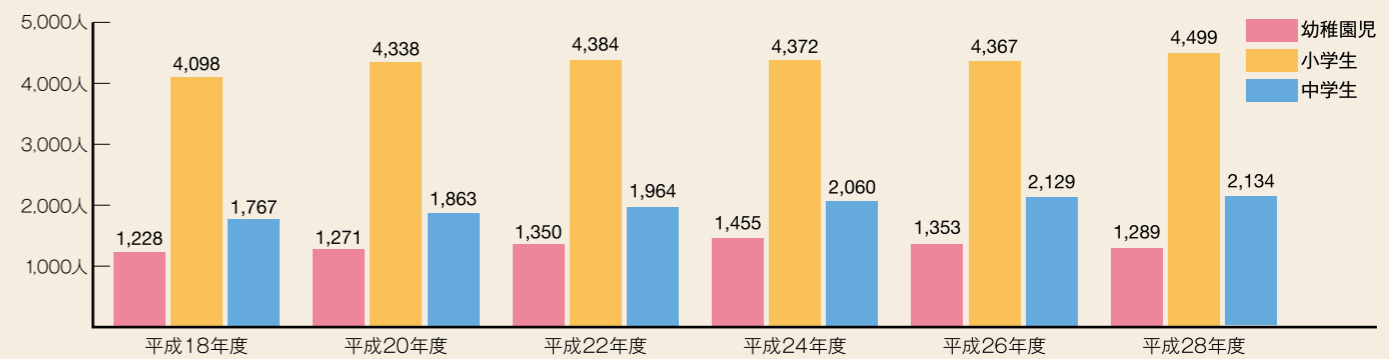


■平成27年度特別会計の決算額

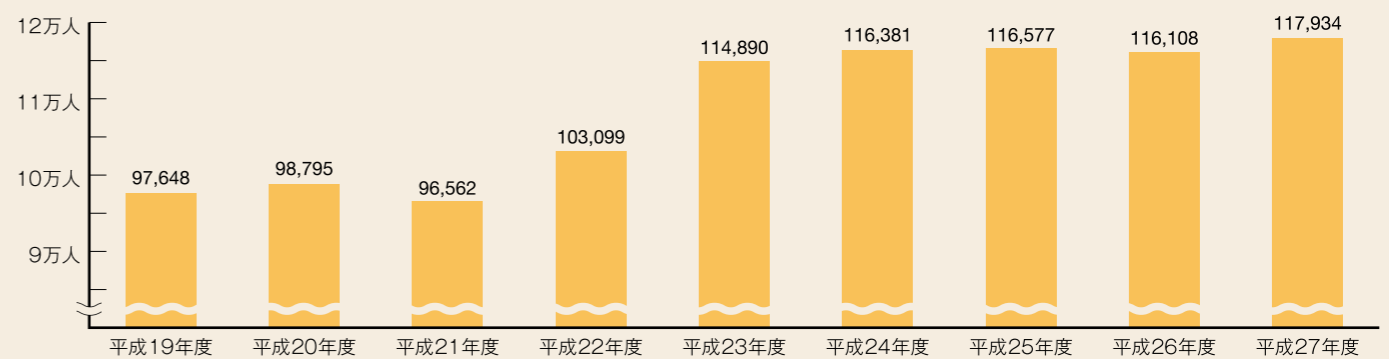
会計名	歳入	歳出
国民健康保険	94億6,199万9千円	91億4,919万9千円
下水道事業	12億4,508万2千円	12億1,237万4千円
農業集落排水事業	7,637万3千円	7,428万円
介護保険	32億9,049万7千円	31億5,933万円
後期高齢者医療	4億4,496万4千円	4億4,442万円
水道事業	収益的	15億8,815万2千円
	資本的	1億6,994万円
合計	162億7,700万7千円	161億2,608万3千円

【教育編】

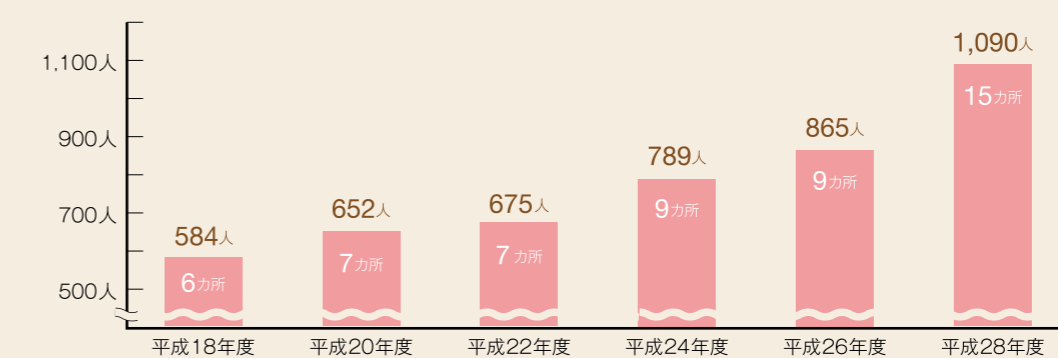
■児童・生徒数の推移



■市民交流センターおあしす利用者数の推移

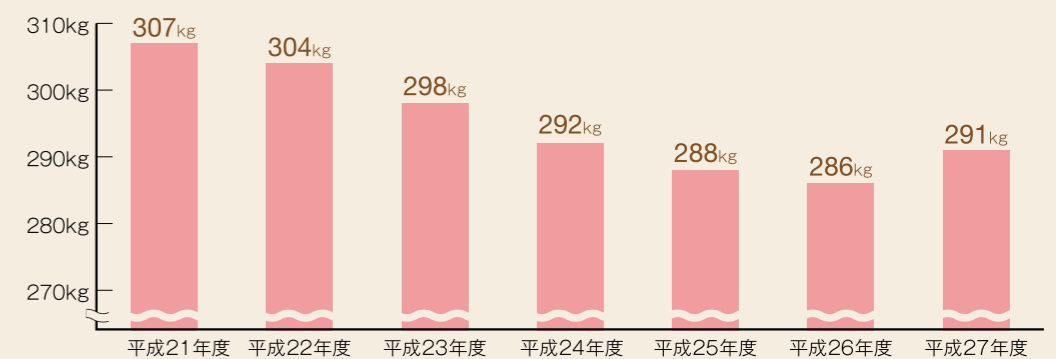


■保育所数と入所児童数の推移



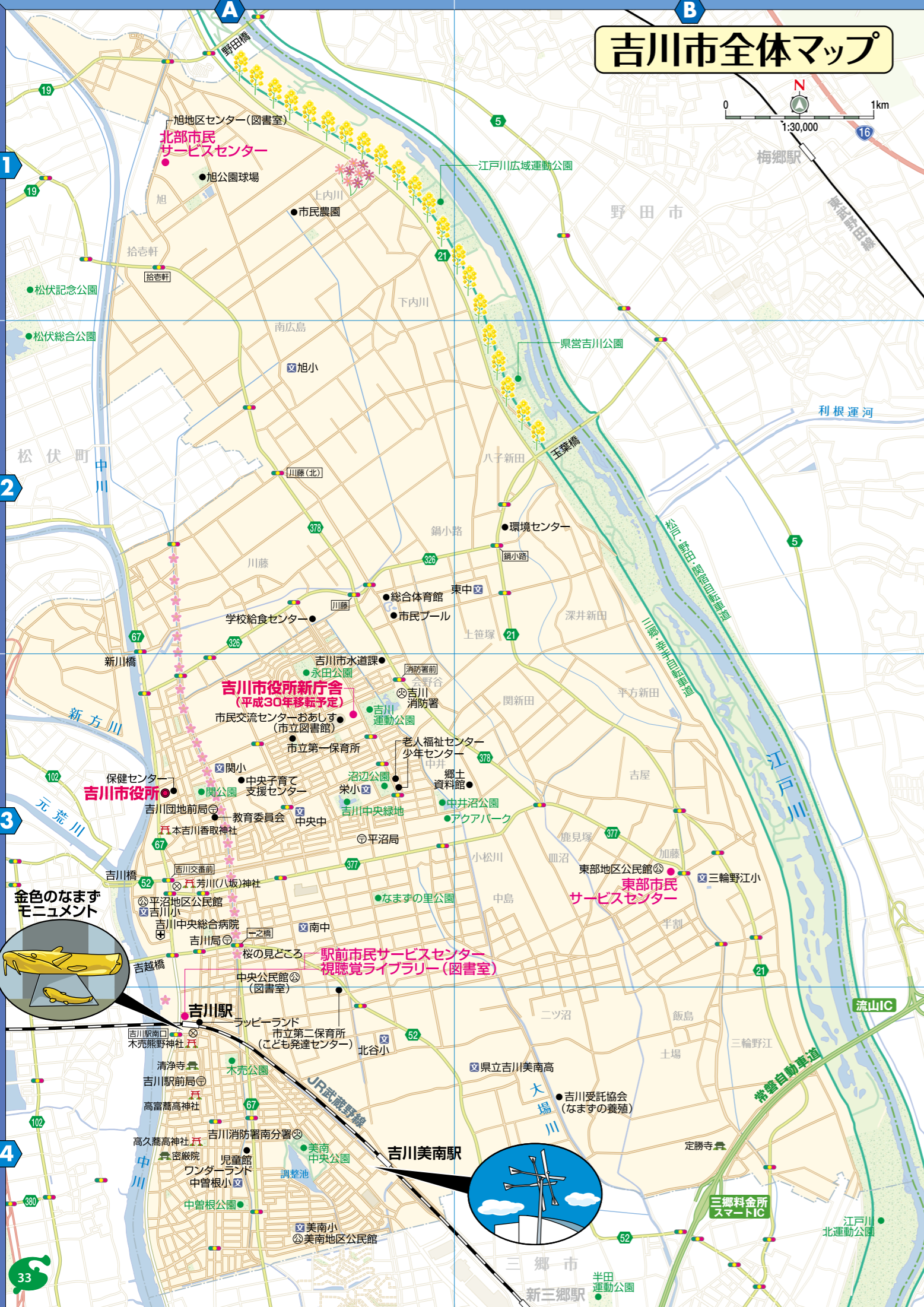
【家庭編】

■市民一人当たりの年間ごみ排出量の推移



【施設編】

吉川市全体マップ



- 地図 A-1
北部市民サービスセンター／旭地区センター(図書室)
 旭6番地4
 ☎048-991-8118 **ファクス** 048-991-8117
- 地図 A-1
旭公園球場
 旭2977番地
 ☎048-992-2241
- 地図 A-1
市民農園
 上内川1605番地1
 ☎048-991-7770
- 地図 A-2
学校給食センター
 川藤3265番地1
 ☎048-940-0790 **ファクス** 048-940-0791
- 地図 A-2
総合体育館
 上笹塚一丁目58番地1
 ☎048-982-6800 **ファクス** 048-983-1867
- 地図 A-2
市民プール(屋外プール)
 上笹塚一丁目62番地1
 ☎048-982-8484
- 地図 A-2
市民プール(屋内温水プール)
 上笹塚一丁目79番地1
 ☎048-981-6452
- 地図 B-2
環境センター
 鍋小路431番地
 ☎048-983-2281 **ファクス** 048-981-5641
- 地図 A-3
吉川市水道課
 会野谷496番地
 ☎048-982-7711 **ファクス** 048-984-1111
- 地図 A-3
吉川松伏消防組合消防本部・消防署
 会野谷481番地
 ☎048-982-3931 **ファクス** 048-981-7150
- 地図 A-3
市民交流センターおあしす／市立図書館
 きよみ野一丁目1番地
 ☎048-984-1888 **ファクス** 048-983-5500
- 子育て支援センター(おあしす内)**
 ☎048-984-6377 **ファクス** 048-984-6378
- ファミリーサポートセンター(おあしす内)**
 ☎048-984-6378 **ファクス** 048-984-6378
- 地図 A-3
市立第一保育所
 きよみ野二丁目22番地1
 ☎048-982-0259 **ファクス** 048-982-0259
- 地図 A-3
中央子育て支援センター
 吉川団地1番7号106
 ☎048-971-8865 **ファクス** 048-971-8865

- 地図 A-3
吉川市役所(平成30年移転予定)
 吉川二丁目1番地1
 ☎048-982-5111(代表) **ファクス** 048-981-5392
- 地図 A-3
保健センター
 吉川二丁目1番地13
 ☎048-982-9803 **ファクス** 048-981-3881
- 地図 A-3
教育委員会
 吉川一丁目21番地13
 ☎048-984-3561(代表) **ファクス** 048-984-3562
- 地図 A-3
老人福祉センター
 吉川964番地
 ☎048-982-7717 **ファクス** 048-982-7721
- 地図 A-3
少年センター
 平沼1835番地
 ☎048-981-3863 **ファクス** 048-981-3863
- 地図 A-3
平沼地区公民館
 平沼73番地
 ☎048-982-6297 **ファクス** 048-982-6294
- 地図 A-4
市立第二保育所／子ども発達センター
 木売新田16番地
 ☎048-982-5300 **ファクス** 048-982-5300 [第二保育所]
 ☎048-983-4800 **ファクス** 048-982-5647 [子ども発達センター]
- 地図 B-3
郷土資料館
 中井二丁目151番地1
 ☎048-981-6563
- 地図 B-3
東部市民サービスセンター／東部地区公民館
 加藤438番地
 ☎048-981-8116 **ファクス** 048-983-2241
- 地図 A-4
駅前市民サービスセンター
 木売一丁目5番地3
 ☎048-981-8111 **ファクス** 048-983-2240
- 視聴覚ライブラリー(図書室)**
 ☎048-981-8113 **ファクス** 048-981-8114
- 地図 A-4
中央公民館(図書室)
 保577番地
 ☎048-981-1231 **ファクス** 048-983-1864 [中央公民館]
 ☎048-981-1325 **ファクス** 048-981-1325 [図書室]
- 地図 A-4
美南地区公民館
 美南四丁目17番地3
 ☎048-984-3732 **ファクス** 048-984-3732
- 美南子育て支援センター(美南地区公民館内)**
 ☎048-983-5267 **ファクス** 048-983-5267
- 地図 A-4
児童館ワンダーランド
 美南五丁目3番地1
 ☎048-981-6811 **ファクス** 048-983-1865



市の木 モクセイ 市の花 サツキ・ツツジ



発行・編集 吉川市 政策室
〒342-8501 埼玉県吉川市吉川二丁目1番地1
☎048-982-5111(代表) FAX 048-981-5392
発行日 平成29年3月31日